

二〇〇九年二月二十五日（夙川公民館）

雪解水命得しごとたばしれる	宏
砂吐きて浅蜷の舌ののびにけり	虎
水仙の丈を揃へて剪りにけり	ま
美容師のはさみに委ね目借時	ぼんこ
下萌ゆる園に巡路の区切り縄	つくし
甲山墨絵ぼかしに春しぐれ	菜々
露天湯の四囲に広がる春の雪	満天
春の鴨尻おっ立てて潜りけり	はく子
湯の町を貫き奏づ雪解川	〃
にぎはへる川原湯四囲に斑雪山	〃

吟行句会みの選

二〇〇九年二月二十五日（夙川公民館）